

U12カテゴリー
チーム運営・母集団研修会

2022/6/11

受付18:30～ 19:00～20:20

MBA宮城県バスケットボール協会 U12カテゴリー部会



はじめに



- チーム運営のための参考となるよう、ガイドラインを作成しました。
- わからないこと、困ったことがあれば、まずは宮城県バスケットボール協会に相談をしてください。
- バスケットボールが大好きな子どもたちのために、大人や地域が協力体制を整えて、チームを運営し、子どもたちを育てていってください。

本日の項目



1 登録

2 移籍

3 チーム運営

4 保護者

5 会計

6 インテグリティ

7 子ども理解と指導 親の支援

8 望ましい距離と練習時間

9 気持ちのよいチーム作り

1. 登 録

この項目は、JBA「U12カテゴリー登録・移籍運用細則」に準じ、
守っていただきたい内容となります。



(1) チーム登録



① チーム責任者

- 1 登録年度の4月1日現在で年齢が**18歳以上**であること。
- 2 チームを代表して対外的な**窓口**となり、参加に係る**手続き**等ができること。
- 3 チームが競技会等に参加する場合に帯同し、チームの**最終責任者**として活動できること。
- 4 チームのコーチや審判を**兼ねる**ことができる。
- 5 **保護者の代表等が務めてもよい。**

(1) チーム登録



② コーチ

- 1 登録年度の4月1日現在で年齢が18歳以上であること。
ただし、高校生を除く。
- 2 JBA公認コーチライセンスの「E級」以上を保有していること。
- 3 チームが大会等に参加する場合に帯同し、コーチとして活動できること。
- 4 チーム責任者や審判を兼ねることができる。
- 5 複数のチームでコーチとして登録することは可能だが、同じ大会で複数のチームの指揮を執ることはできない。
- 6 **一つのチームで複数のコーチが協力して指導することができる体制づくりを推奨する。**

(1) チーム登録



③ 審判

- 1 登録年度の4月1日現在で年齢が12歳以上であること。
ただし小学生を除く。
- 2 JBA公認審判ライセンス。「E級」以上を保有していること。
- 3 チームが大会等に参加する場合に帯同し、大会の審判として活動できること。
- 4 チーム責任者やコーチを兼ねることができる。
- 5 複数のチームで審判として登録することは可能だが、大会日程の重複などにより、活動に支障ないように配慮すること。
- 6 U18審判を積極的に活用することを推奨する。

(2) 競技者登録



① 年齢

- 1 原則として当該年度の4月1日現在、年齢が13歳未満の選手とする。
- 2 過年齢の選手であっても、小学校在学中の児童については登録を認めるが、当該選手の競技会等への参加については、大会要項の定めに従う。
- 3 当該年度の4月1日現在、10歳未満の選手のJBA競技者登録料は無料とする。ただし、都道府県協会登録料の有無および金額については、都道府県協会の定めによる。

(2) 競技者登録



② 条件

1 競技者の主たる居住地から当該チームの主たる活動場所まで安全に無理なく集合して活動し、活動後は安全に無理なく帰宅できる範囲のチームであること。

※小学生に必要な生活習慣や学習時間、睡眠時間などを考慮し、遅くとも午後8時までには帰宅できることが望ましい。

2 競技者の移動中の安全の確保について、当該競技者の保護者をもって行える環境であること。

(2) 競技者登録



③ 新規加入の手続き

- 1 チーム責任者が、「**競技者一括登録**」によって行うことができる。
- 2 初めて競技者登録する場合、**競技者登録番号**は自動的に採番される。
- 3 以前に別のチームで競技者登録をしていた選手が加入する場合は、**以前使用していた競技者登録番号で登録**する。
- 4 手続きの詳細は、TeamJBAを参照のこと。

(2) 競技者登録



④ 継続加入の手続き

- 1 チーム責任者が、「**競技者一括登録**」によって行うことができる。
- 2 **競技者一括登録**を行う際は「**代理登録委任状(U12)**」により、選手に**継続登録の意思**があることを確認してから**手続きを進める**。
- 3 **手続きの詳細は、TeamJBAを参照のこと**。

登録を推進 = チーム存続を助ける

U12の喫緊の課題

○ プレーヤーの減少、チームの減少への対応

- ・プレーヤーが10名（8名）集まらない。
- ・試合が成立しない。

⇒ 合同チームとして試合ができる環境を保障します。

合同チーム



プレイヤーのモチベーション確保

県内チームの存続

近くでバスケットボールを楽しめる環境の担保

条件 （子供のための合同であり、指導者のためでない。強化目的でない）

- ・ 合同練習が可能な距離。 子供、保護者に大きな負担がかからない。
- ・ 合同で試合に参加する場合、メインコーチが決まっていること。
- ・ 両チームの、チーム運営を互いに尊重し合い、齟齬がないこと。

2. 移 籍

この項目は、JBA「U12カテゴリー登録・移籍運用細則」に準じ、
守っていただきたい内容となります。

(1) 移籍の考え方

① JBA基本規定における移籍の考え方(抜粋)

- 1 移籍は基本的に自由である。
- 2 移籍申請者は希望する競技者である。
- 3 移籍元チームは移籍を承諾しなければならない。

② U12カテゴリーにおける移籍の考え方

- 1 2019年度より、競技環境が得られずに困っている選手を救済するため、「特別な事情」がある場合は移籍を認める。
- 2 上記の趣旨を踏まえ、指導者や保護者などの大人が意識を改め、育成に主眼を置いた運用をする。

(1) 移籍の考え方

③ 移籍の運用

- 1 「特別な事情」とは、「転居」と「人間関係等のトラブル」とする。
- 2 「人間関係のトラブル」とは、選手、指導者、保護者のそれぞれの間で起こったことを含む。
- 3 引き続き、強化を目的とした移籍を認めない。
- 4 移籍回数制限は行わないが、選手の発達段階を踏まえ、U12カテゴリーでは同じ環境で継続的に育成されることが望ましい。

(2) 移籍の手続き



① 手続きの種類

- 1 「**移籍申請書**」による手続きと、「**登録システム (TeamJBA)**」による手続きの両方を行う。
- 2 **移籍申請書**の手続きを経て、**都道府県協会**から**移籍が承諾**された後に、**登録システム (TeamJBA)**による**移籍の手続き**を行う。

(2) 移籍の手続き



② 書面による手続き

- 1 「移籍申請書」全てに記入。理由は選択。
- 2 移籍元・移籍先の代表者から承諾印をもらう。
- 3 移籍先チームの責任者が、都道府県協会に送付。
- 4 承諾がおりた後システム上で登録手続きを行う。

③ 登録システムによる手続き

- 1 移籍先チームの責任者が当該選手の登録を申請する。
- 2 移籍元チームの責任者が当該選手の移籍申請を承認する。

(3) JBAの検討課題



○理由をこじつけて、5・6年生で競技レベルの高い選手を集め上位大会(全国・ブロック大会)を目指そうとするチームがある。
表向きは、偶然移籍したように見える・・・

・現段階では、移籍回数に制限がない。(悪用を考えての移籍ではないと考えているため)

⇒**今後** 5年生以上の移籍は原則1回 (チームを転々とさせない)

⇒**または** 各大会出場条件に組み込む

(例8月末までに登録・移籍を完了していること)

3. チーム運営

チームの規約



ありますか？

(1)規模

①選手

- 1 各選手に**均等な活動の機会**が与えられるよう、場や時間を配慮する。
- 2 選手の負担が重くならないよう、**活動の質と量を工夫する。**
- 3 登録競技者が8人に満たないチームでは、近隣のチームと合同チームを編成するなど工夫し、活動できる環境づくりを行う。

②スタッフ

- 1 きめ細かな指導ができるよう、**複数の指導者を確保する工夫**をすることが望ましい。
- 2 低学年の選手に対しては、指導者の指示の下、保護者が指導を補助するなど工夫する。

(2) 体育館利用



① 配慮事項

- 1 練習はある程度固定した日時や場所を実施するようにし、移動による負担を避けるようにする。**
- 2 選手の発達段階や人数に応じて、開始・終了時刻や練習時間の設定を行う。**
- 3 小学校の体育館を利用する際は、学校側の理解を得られるよう、使い方や他競技への配慮などを行う。**

4. 保護者

The logo consists of the letters 'MBA' in a bold, stylized font. The 'M' and 'A' are green, while the 'B' is a dark purple or brown color. The letters are slightly slanted to the right.

MBA

あなたのチームの 責任者は・・・

指導者？

保護者代表者？

答えられますか

(0) チーム責任者の明確化



- U12カテゴリーは「クラブ」に属する = 責任どころが不明確
- 指導者 ⇔ 保護者、保護者間のトラブルが多い
- 暴言暴力が多い
 - ・・・指導者だけの問題ではない
 - 勝ちを助長する保護者も多い

(1)役割



- 1 選手が自主的に活動できる手助け(サポート)を行う。
- 2 大会や練習試合で必要となるT.Oの指導を行う。
- 3 選手に前向きな言葉かけを行い、応援する。
- 4 活動に対する経済的な負担を行う。
- 5 練習や試合、大会の際に選手の指導を助ける。
- 6 家庭での生活を調えることを大切にし、特に食事、睡眠の管理を行う。
- 7 選手のサポートに必要なことや不要なことを、指導者とすり合わせを行う。

(2)保護者会



①組織

- 1 協力して子どもたちの活動を応援できる体制を整える。
- 2 会長，副会長，学年ごとの代表，会計など，その他実態に応じて役員を置き，役割分担をして運営にあたる。

(2)保護者会



②会議

- 1 指導方針の伝達や会計報告などが定期的に行われること。
- 2 チームや指導者に対する保護者の要望を聞くなど、互いの意思の疎通を図り、よりよい活動環境を整える。
- 3 時機や回数は、チームの実態に合わせて気風して実施する。
 - ・4～5月等年度はじめ、登録完了後や新体制がスタートする時
 - ・2～3月等年度の終わり、会計報告や次年度体制について話し合う時
 - ・各大会の前後など、連携を図ることが必要な時 など

(3)意思の疎通



- 1 保護者は、チーム責任者や指導者と連携を図り、協働してチーム運営にあたる。**
- 2 指導者は保護者の、保護者は指導者の言葉に耳を傾け、互いが理解を深め、子どもたちのよりよい活動につなげていく。**

5. 会 計

MBA

① 金額, 集め方

- 1 集金額は, チーム運営に**必要な金額**を保護者会で検討し, 決定する。
- 2 集める際は, 集金袋や銀行振込などの方法で, **必ず記録が残る**ようにする。
- 3 金額や方法を決定する際は, 各家庭の事情に**十分配慮**することが重要である。

(1) 管理方法 規約を基に



② 会計報告, 年度ごとの会計

- 1 少なくとも年度に1回は会計報告を行い, 複数の目で監査等が行われるようにする。
- 2 年度ごとに選手や保護者が入れ替わるので, 会計は年度ごとに処理するようにする。(トラブルの回避)

③ 会計担当者

- 1 担当者は出納の管理を行い, 予算を執行する者とは分けておく。
- 2 出納の管理は必ず複数で行い, ミスを防ぐ工夫をする。

(2) 使途

① 使途の決定, 判断

- 1 会費等の使途は, 事前に保護者会で定める。
- 2 定めのない支出の可否は必ず協議して決定し, 透明性を確保する。

② チームの経費の範囲

- 1 チームとして負担する経費の内容は, 事前に規定等に定めておく。
- 2 チームで負担するものと, 個人で負担するものを明らかにしておく。

6. インテグリティ

みなさんは知っていますか？



インテグリティに関するアンケート

令和3年度「宮城県民体育大会バスケットボールジュニアの部」に参加した指導者及び保護者代表を対象としたアンケートです。大会及び日頃の活動の課題点を見える化し、今後の活動の環境改善に生かすことを目的としています。

調査対象：本大会参加チームの指導者
保護者代表2名以上



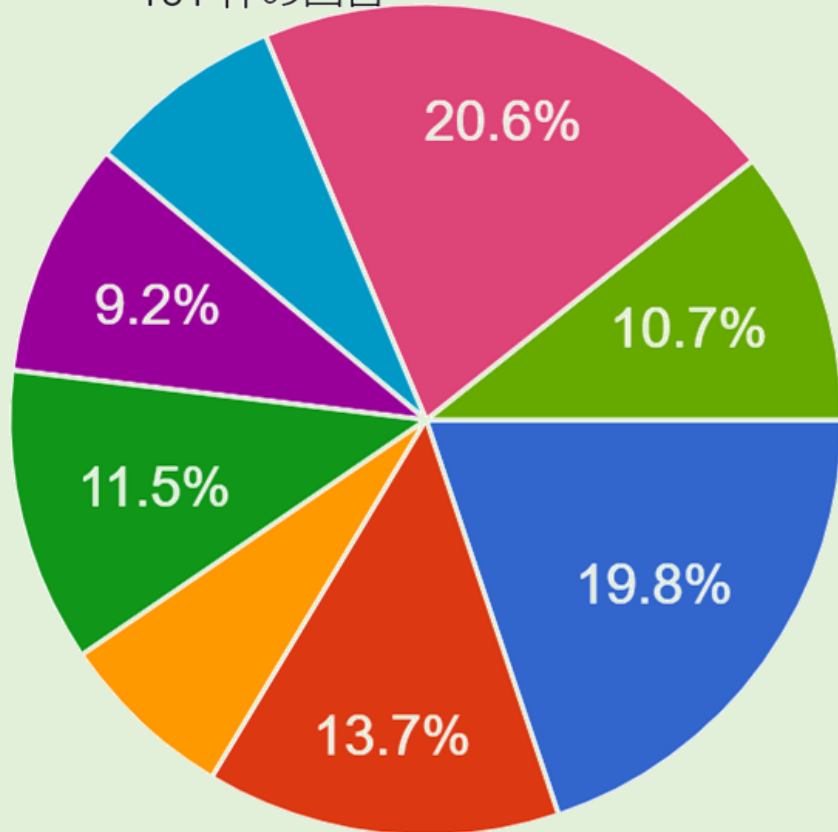
調査対象者



■ 地区

所属地区

131 件の回答

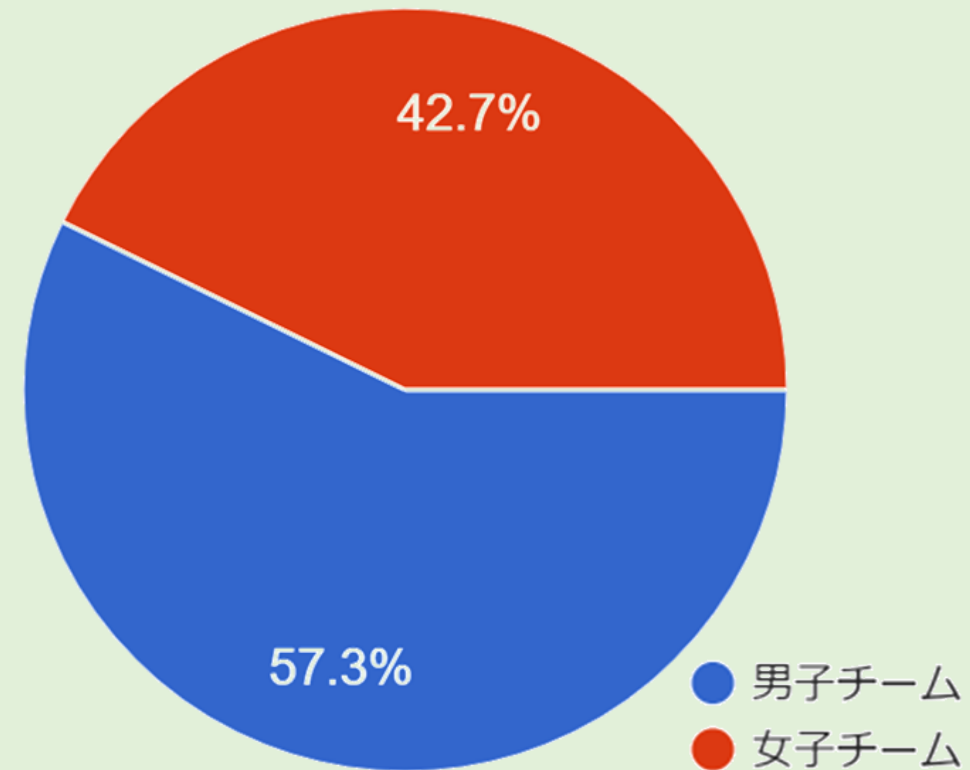


- 仙台 (青葉区)
- 仙台 (太白区)
- 仙台 (泉区)
- 仙台 (若林区・宮城野区)
- 北
- 東
- 南
- 中央

■ 男女チーム

所属

131 件の回答

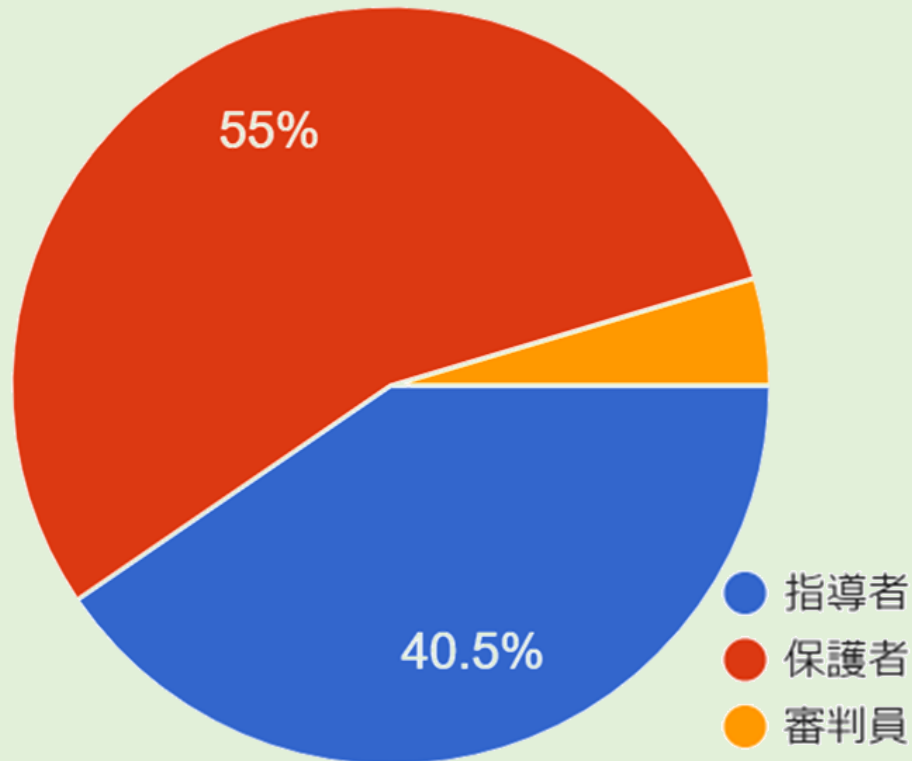


- 男子チーム
- 女子チーム

■ 立場

立場

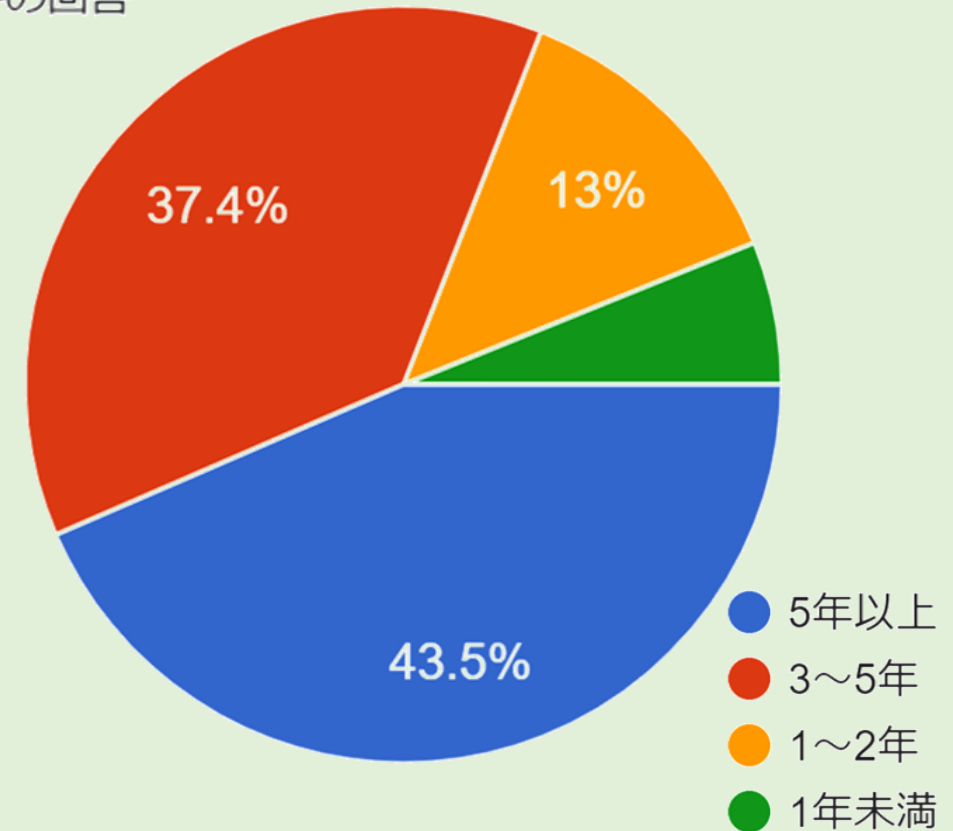
131 件の回答



■ 期間

今の立場に関わっている期間

131 件の回答

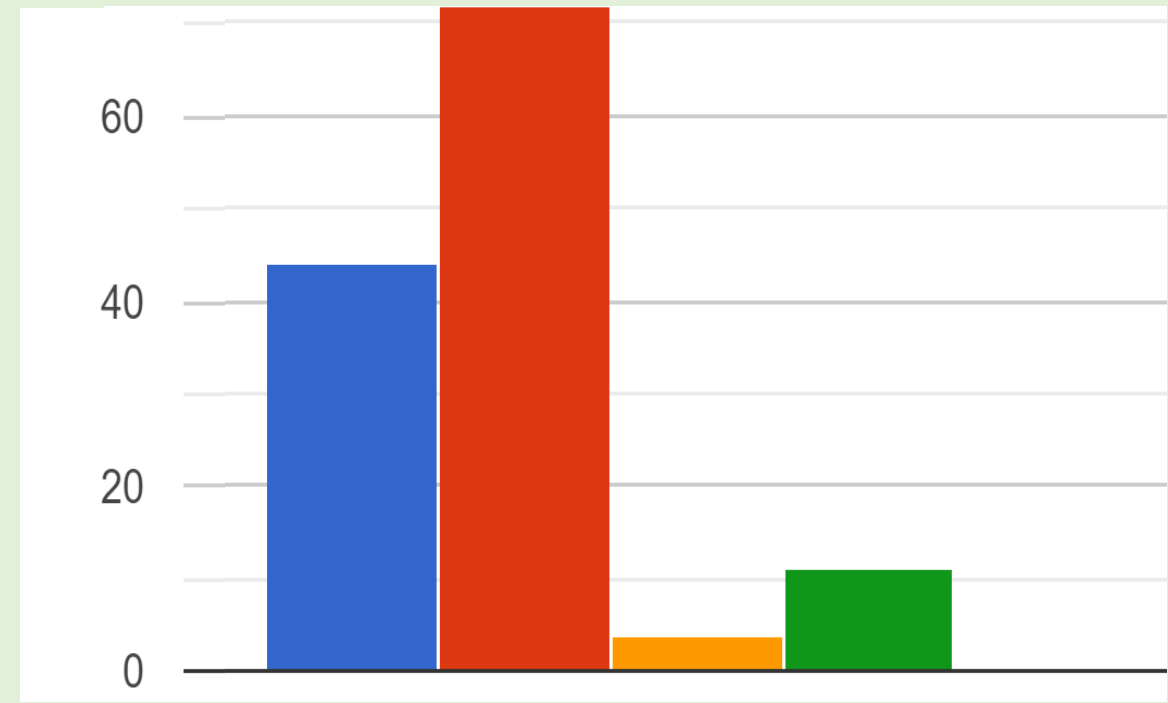
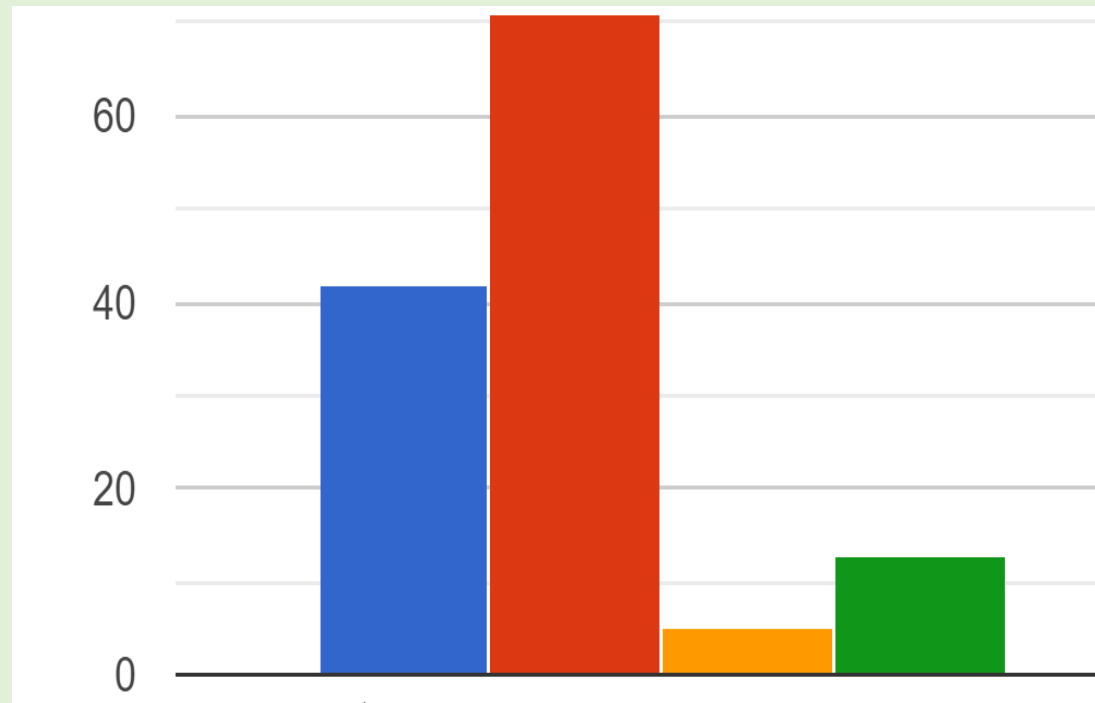


県民大会を振り返って(全体)



■「インテグリティ」を意識した試合にすることができましたか？

■「指導行動の指針」を意識したベンチワークができていましたか？

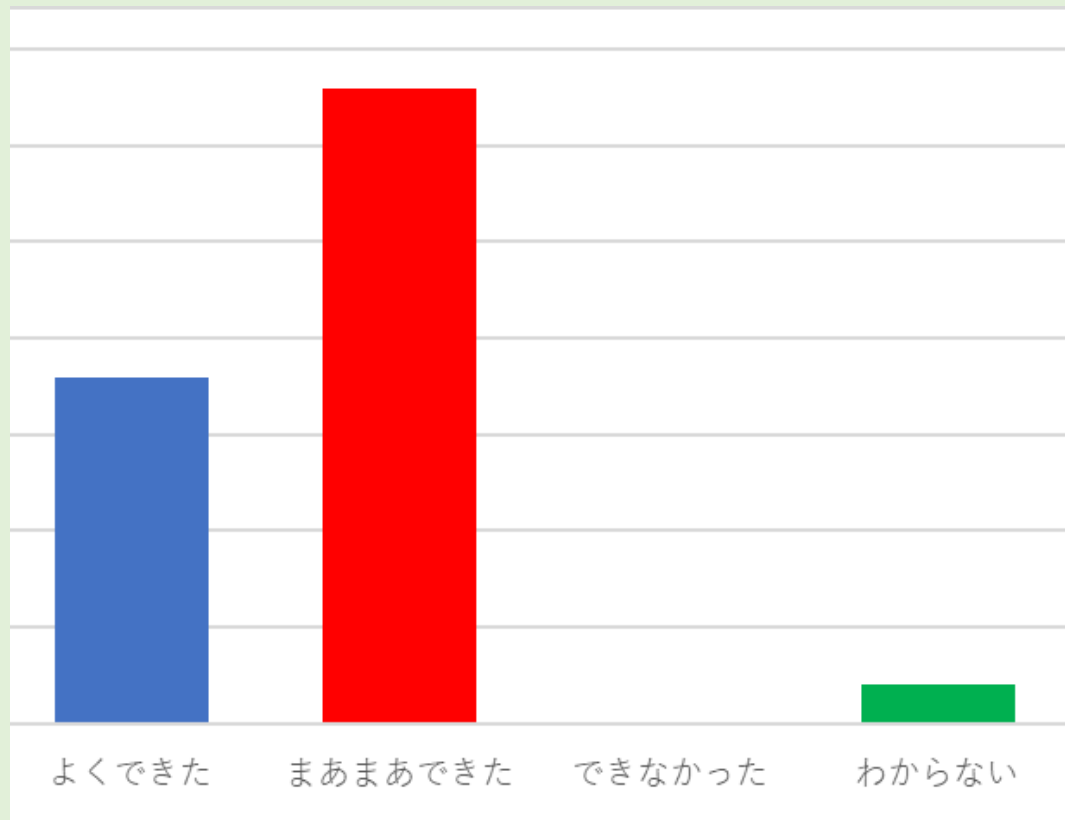


よくできた まあまあできた できなかった わからない

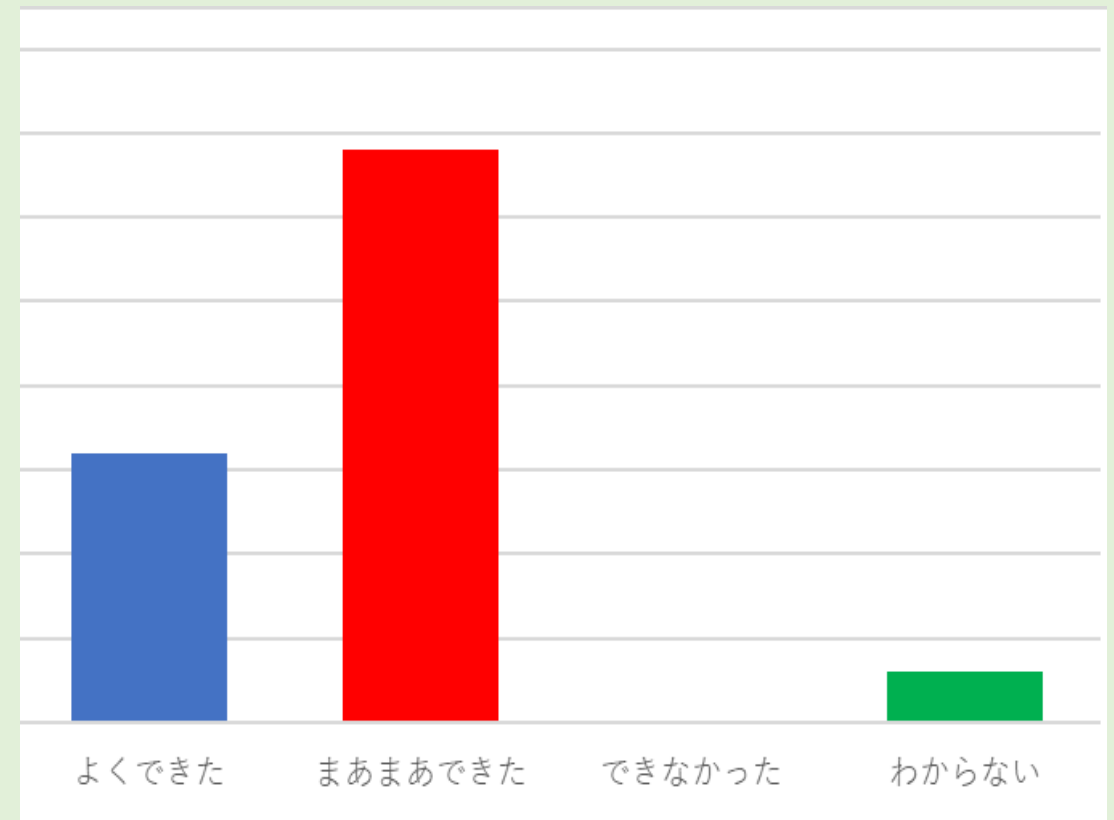
県民大会を振り返って(指導者)



■「インテグリティ」を意識した試合にすることができましたか？



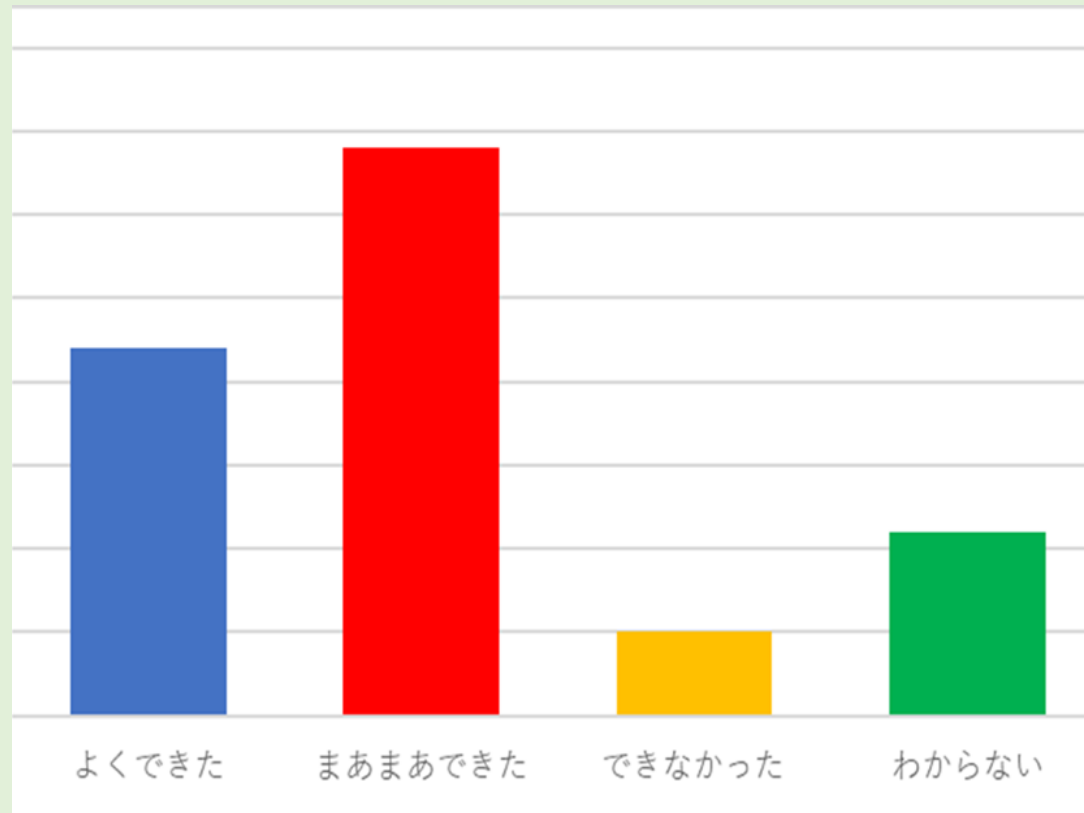
■「指導行動の指針」を意識したベンチワークができていましたか？



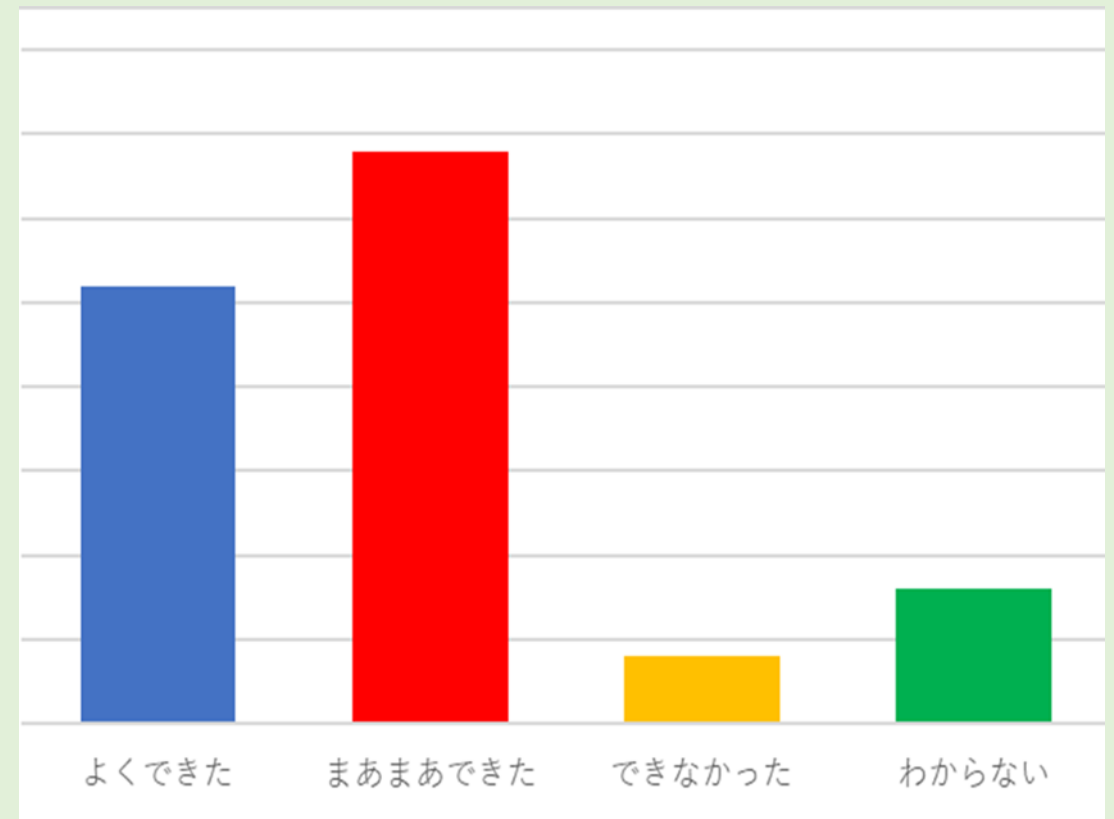
県民大会を振り返って(保護者)



■「インテグリティ」を意識した試合にすることができましたか？



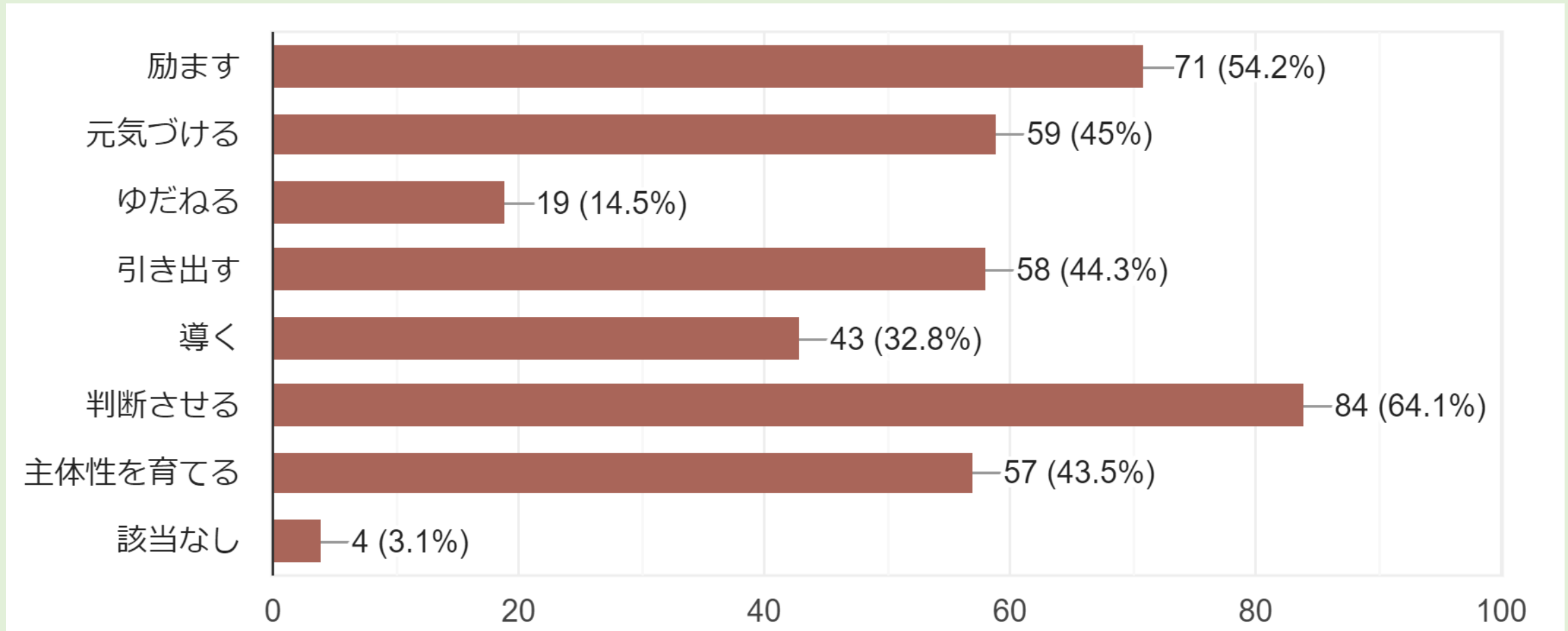
■「指導行動の指針」を意識したベンチワークができていましたか？



「指導行動の指針」



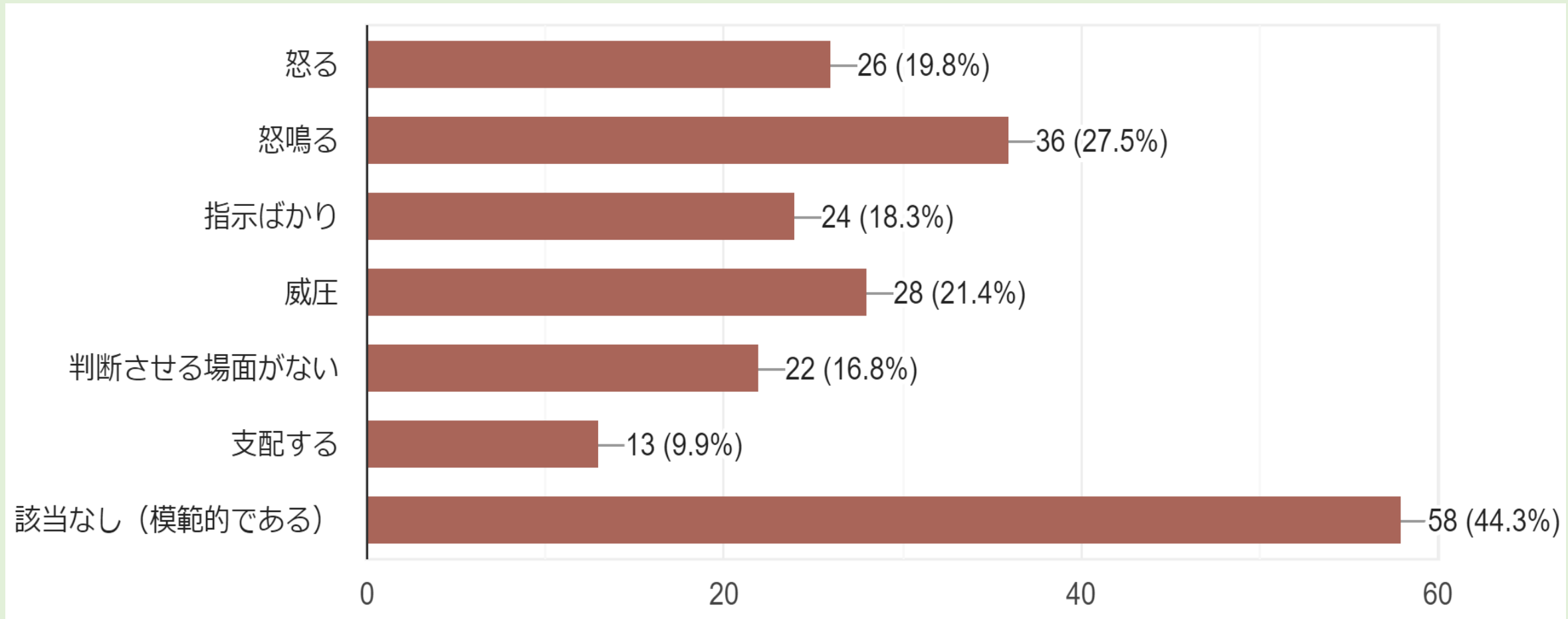
■あなたのチームにおいて、「指導行動の指針」で意識したことは何ですか？複数回答可



「指導行動の指針」



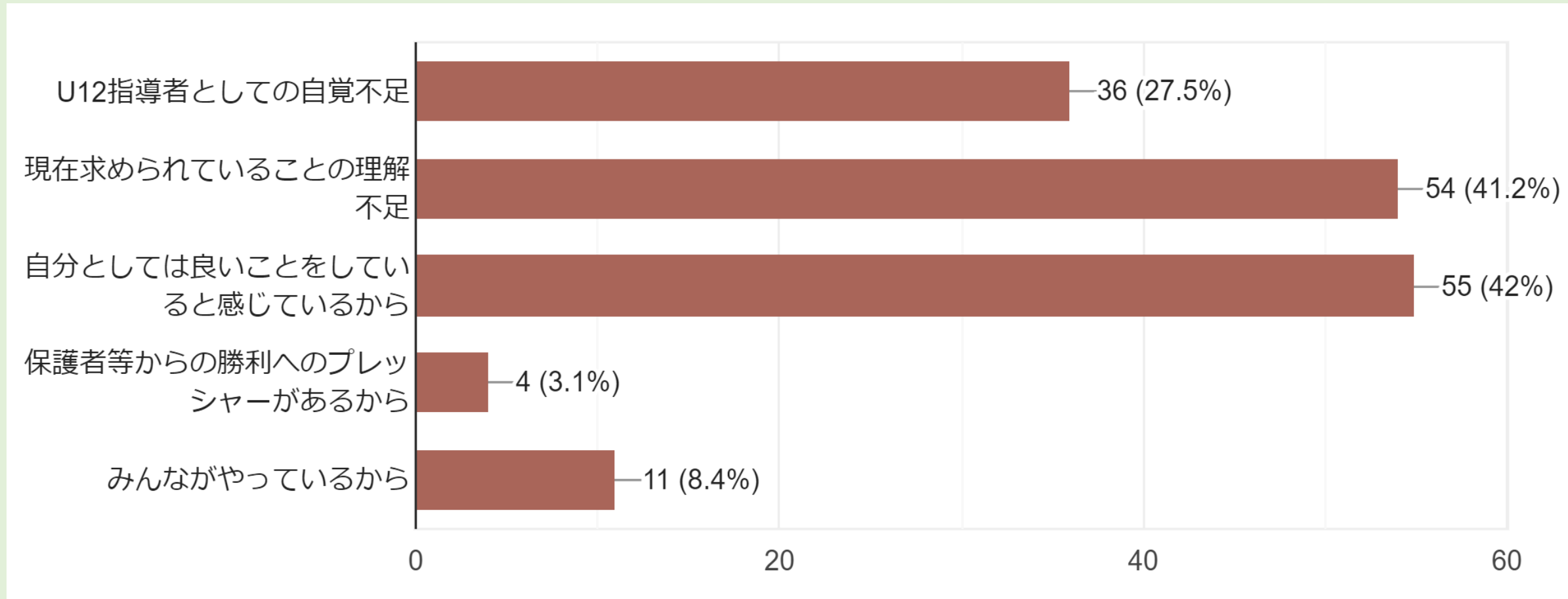
■あなたのチームにおいて、「指導行動の指針」にそぐわない気になる行動は何ですか？複数回答可



「指導行動の指針」



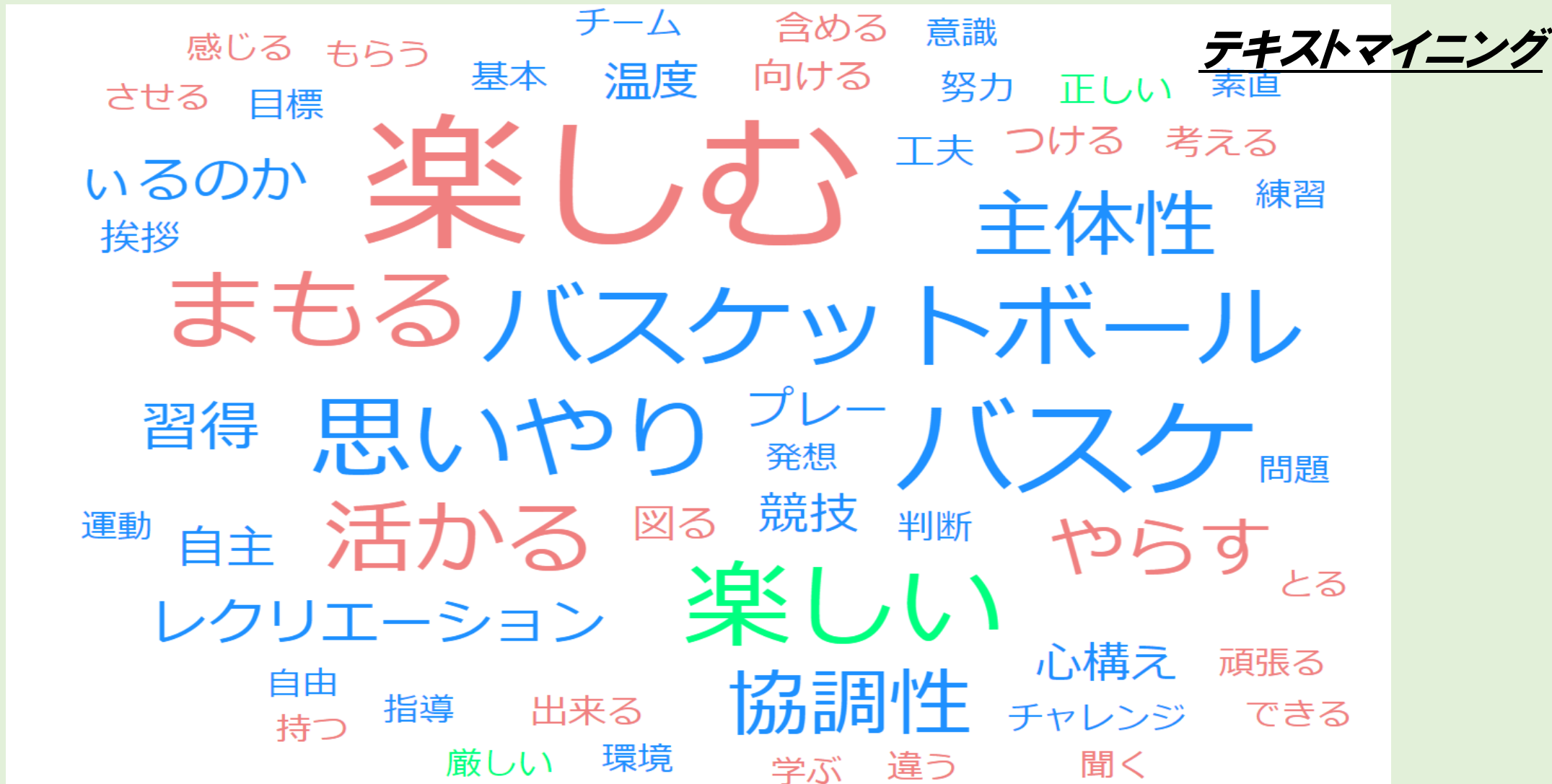
■「指導行動の指針」が出来ない理由として、あなたの考えに近いものをお選びください。複数回答可



「指導行動の指針」



■U12カテゴリーの子供たちにとって大切なこと(指導者) *自由記述*



「指導行動の指針」



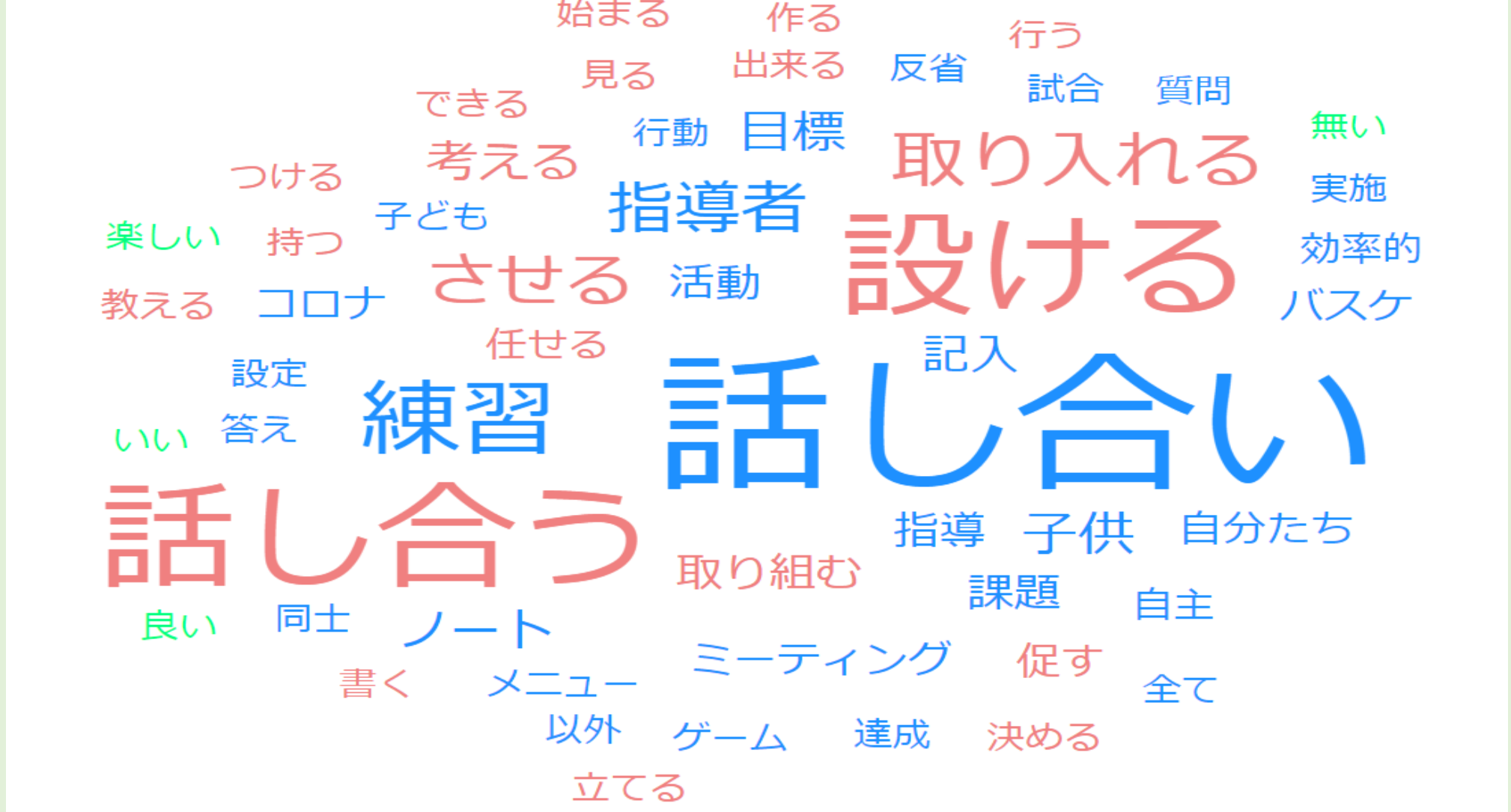
■U12カテゴリーの子供たちにとって大切なこと(保護者)

言う 出し合う 礼儀 意識 貰える 面白い
取り組む 勝ち負け 仲間 気持ち 少ない
怖い 保護者 チーム
移す 体力 バスケット つくる
協調性 バスケットボール スポーツ 考える
勝つ 向上心 自ら 基礎 できる
感謝 向上 プレーク 持つ
思う 練習 周り
楽しむ 楽しい 環境 バスケット 目標
しまう 行動 判断 指導 興味 学ぶ 協力 良い
頑張る 思える 感じる 成長 がんばれる
褒める 作る

「指導行動の指針」



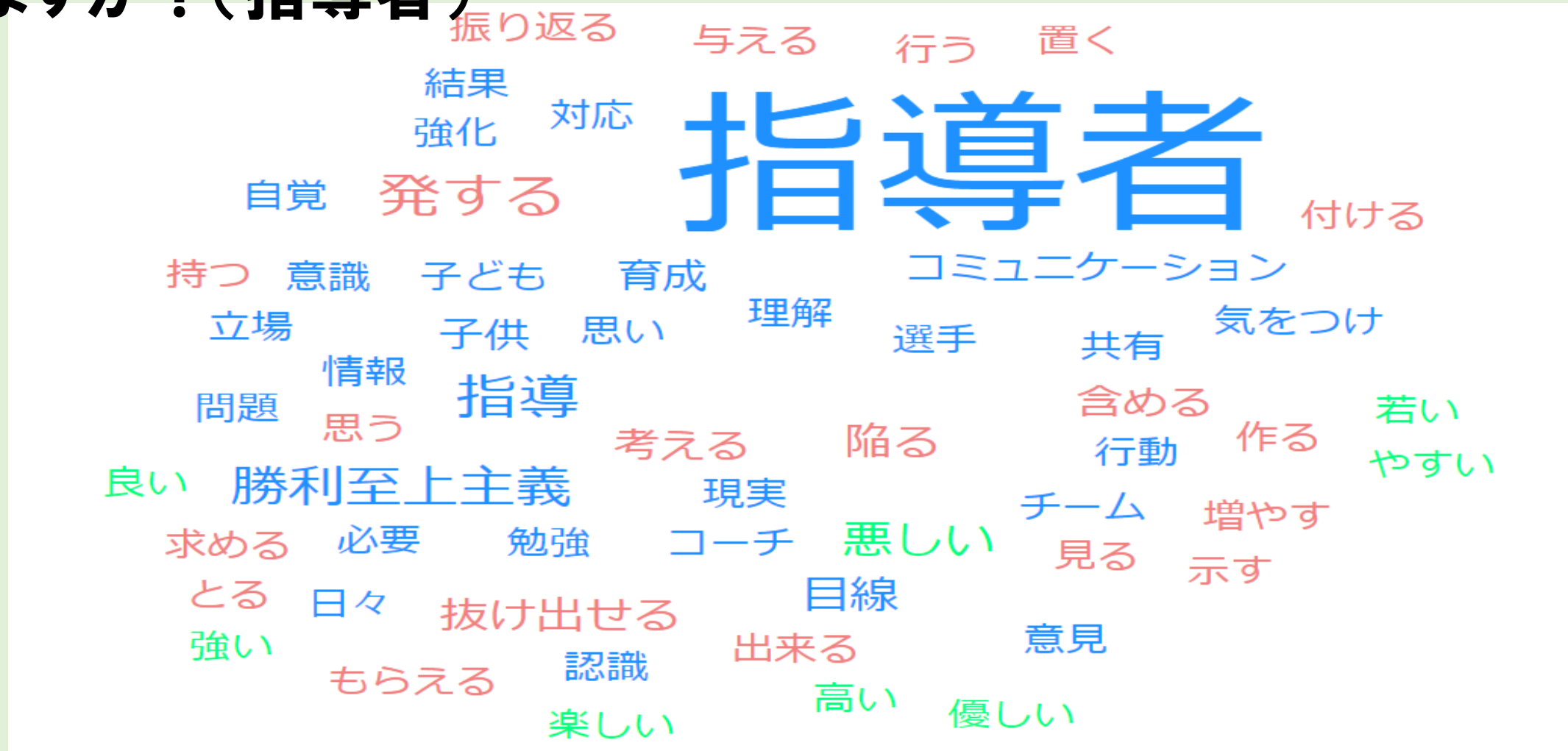
- あなたのチームで行っている工夫を教えてください。自由記述



「指導行動の指針」



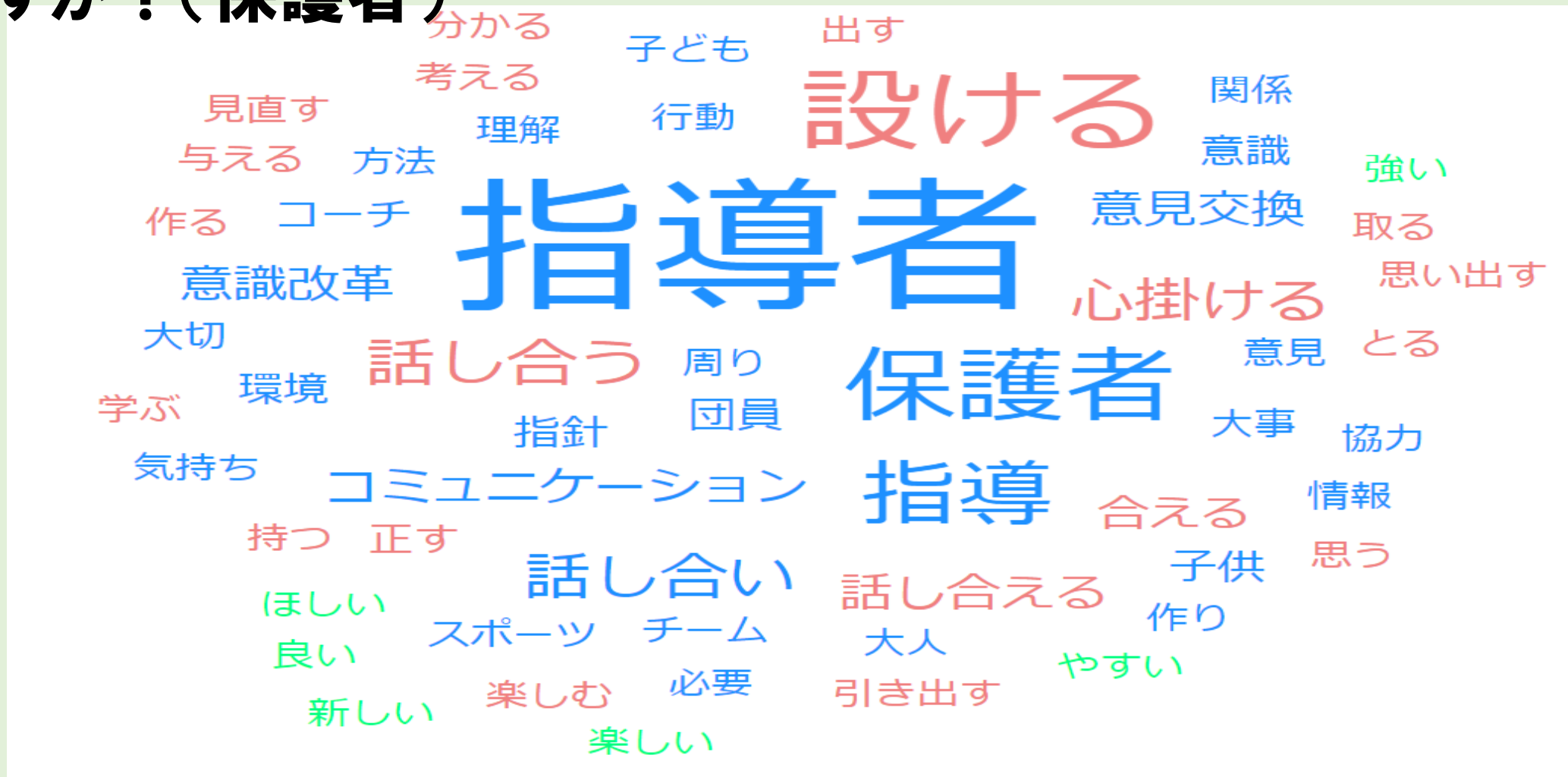
■「指導行動の指針」に反しないようにするために、どうしたらよいと考えますか？(指導者)



「指導行動の指針」



■「指導行動の指針」に反しないようにするために、どうしたらよいと考えますか？（保護者）



(1) インテグリティとは



① JABからのメッセージ

「クリーンザバスケット, クリーン・ザ・ゲーム」

～暴力暴言根絶～

- JBAは、**インテグリティ(誠実さ, 真摯さ, 高潔さ)**の精神に則り、プレーヤーズセンタードを実践するため、**暴力, 暴力的行為, 暴言を根絶します。**

(1) インテグリティとは

② 具体的な考え方

- **クリーンザバスケット**: 日常の環境を変える
→ これからの取り組み
- **クリーン・ザ・ゲーム**: 試合中の取り組み
→ テクニカルファールの適用で、一定の抑止力となった

(1) インテグリティとは



③ 喫緊の目標

「CLEAN THA GAME」NO暴力暴言

- ・試合中のインテグリティによるテクニカルをゼロに

「RESPECT」NO暴言暴力

- ・コーチ, プレーヤー, 審判, 観客, 大会運営者等, 全ての人が互いをRESPECT

(2) 暴言暴力の根絶

① なぜインテグリティなのか

- バスケットボールの価値の向上
- 選手は暴言暴力では絶対に成長しない。「愛のムチ」はない。
- 指導者を取り巻く人々の目，他の人がどう感じるか。

(2) 暴言暴力の根絶



② ゲーム中

- 試合中，コーチは立たない，指示しないことを推奨する。
- 「暴言・暴力的行為」はテクニカルファウルの対象
- コーチは2つのテクニカルファウルで退場

(2) 暴言暴力の根絶



③ 練習中

- 他の選手の間、保護者の間、その他の人たちの間
- 子どもたちがバスケットボールを本当に楽しんでいるか？

(2) 暴言暴力の根絶

④ 違和感に対して修正する力(チーム力)

- ・保護者は指導者にリスペクト精神を。
- ・普段の練習が、楽しくないことへの疑問。
- ・見て見ぬ振りは、子どもの成長に繋がらない。
- ・ダメなことはダメである。
- ・保護者会でよりよいチームに向けた話し合

アンケート結果より

U12 バasketボール環境に関する保護者アンケート報告書

～子どもたちのための充実した環境構築に向けて～

JBA U12部会フェアプレー推進グループリーダー
FIBA Asia Mini Basketball Coordinator

- アンケートの目的
「保護者によるアンケートにより課題を見える化し、
今後のバスケットボール環境改善に生かす」
- 実施期間
2021年3月28日～2021年5月31日
- 実施方法
Googleフォームを用いたWebアンケート
- 対象者
U12で活動を行っている選手の保護者
有効回答数は9332件（※回答率：6.9%）

※回答率は2020年度の競技者数に対しての割合

3) 自チームの練習試合におけるコーチング

- **試合中の暴言が、35%**(よくある15.2%、たまにある19.8%)
試合中の暴力が、10.8%(よくある4.8%、たまにある6.0%)

4) 自チームの練習におけるコーチング

- **練習中の暴言が、30.6%**(よくある13.0%、たまにある17.6%)
練習中の暴力が、9.4%(よくある4.0%、たまにある5.4%)

- 問題のある言動行動があった場合、コーチに改善を訴えやすい環境かどうかについて、5割は訴えられない。

■ 課題：保護者の捉え方

- ・ 試合中の暴力に問題あり＋子どもは楽しんでいる 6%
- ・ 試合中の暴言に問題あり＋子どもは楽しんでいる 27%
- ・ 練習中の暴力に問題あり＋子どもは成長している 6%
- ・ 練習中の暴言に問題あり＋子どもは成長している 23%

U12カテゴリー「指導行動の指針」



JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

<やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引きだす・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる



<やあってほしくないこと>



なにやあってるんだ！
言った通りにやれ！

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する

みなさんの指導は
どうですか？

【宮城県バスケットボール協会U12所属チーム クリーン指導確認書】

指導者は、試合中はもちろん、日頃の練習を含め立ち居振る舞いに注意し、以下に掲げる行動又は行為を行わないことを確認し、保護者と共に子供たちの健全育成に寄与します。

1. プレーヤーに対する暴言

- (1) 人格、人権、存在を否定する言葉
＜具体例＞最低・くず・邪魔・出ていけ・帰れ・死ね・てめえ・貴様 など
- (2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉
＜具体例＞役立たず・下手くそ・アホ・バカ など
- (3) 身体的な特徴をけなす言葉
＜具体例＞チビ・デブ など
- (4) 恐怖感を与える言葉
＜具体例＞殴るぞ・ぶっ飛ばすぞ・帰りたいの？・試合に出たくないの？ など
- (5) 家族に対しての言葉で子供の心を傷つける
＜具体例＞親の顔が見たい・親が泣くぞ・兄姉と同じで〇〇だ など

2. 暴力的な振る舞い

- (1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為 や 着衣をつかんで引っ張るような行為
- (2) プレーヤーと接近（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的、威圧的に指導する行為
- (3) 「おい」「こら」などと大声で高圧的、威嚇的に指導する行為
- (4) 継続的、かつ、度を越えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為
- (5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

3. 第三者が不快と感じる振る舞い・保護者の応援態度

- (1) 不潔な服装、裸足やスリッパでの指導
- (2) 椅子に踏ん反り返る態度
- (3) 上記1～3に準じる周囲に不快感を与える親の応援態度

チーム名

2022 年 月 日

（男子・女子）

署名1（コーチ・A コーチ・サブコーチ）

自筆

署名2（親の会代表）

7. 子ども理解と指導 親の支援

「子供ために」



それは、ほんとうですか？

子供はみんな違います



子供の多様性

同じことができること・・・



子供の多様性を理解し その子を伸ばすとは？

同じことを できることが大切でしょうか？

得意なことを見つけ、伸ばすことの大切さ！

9. 望ましい距離及び練習時間

何時に帰宅しているか



- **全国統一の基準はない。**

しかし、都道府県教育委員会をはじめ、市町村、または、スポーツ少年団の指針やガイドラインで、小学生の一日の練習時間や週の練習時間を示している。

- **学習時間や睡眠時間等を考慮し、逆算すると遅くとも20時までには帰宅する必要がある。**

高学年の場合(逆算)



登校	8:00
出宅	7:30
朝食	7:00
起床	6:00~6:30
消灯	22:00~22:30
食事・入浴・自宅学習	20:00~21:30
帰宅	19:30~20:00
練習	17:00~19:00(19:30)
学童保育・クラブ 放課後	~17:00
	(この時間に学習もあるが)

17:00からの指導者



チーム指導問題

練習時間 17:00~19:00(19:30)
指導者がつけるかという問題

指導者が来てから本格練習となると
18:00以降の時間帯が伸びる
それで、子どもの生活サイクルが乱れる
楽しい練習は、時間的な余裕にも関係があるもの

過度な練習が当たりまえではない。
大人の経験でスパルタ練習が上手くなる、親が期待をかける矛盾

9. 気持ちのよい
居心地のよい
自己肯定感を高める
チーム作りを目指して

誰のためのチームなのか



■ 主役は子供

バスケットボールは楽しい！

やってよかった。もっと追求したい！

■ プレーヤーズファースト

意欲の向上を

自己肯定感を持たせることが重要

仲間を思いやれる

コミュニケーション力を高める

楽しい・もっとがんばりたい・・・



- 否定されない環境 根性論は不要
- 肯定される環境 仲間、指導者、保護者から

ナイスプレー！ そのちょうし！
おいしい！ さあ、つぎ頑張ろう！ ナイスチャレンジ！
・・・今日の○○のプレーがよかったね。

子供たちが楽しくプレーできる環境を

はげます

ほめる

ほめちぎる

元気づける

委ねる

引き出す

話し合わせる

質問したくなる(ねえ、どうするの)

導く

判断させる

主体性を育てる

U12カテゴリー チーム運営・母集団研修会

- 1 困ったら 保護者間・指導者と検討できるチームに。
- 2 それでも困ったら地区の役員さんに相談しましょう。
- 3 解決が難しい場合は、県協会に相談しましょう。

MBA宮城県バスケットボール協会 U12カテゴリー部会

